

## 令和5年度 学校評価（保護者）

※達成率＝「4 よくあてはまる」「3 まあまあ当てはまる」と回答した保護者の割合

No	項目	達成率
1	お子さんは ICT を効果的に活用して、家庭学習に取り組んでいる。	58.5
2	お子さんには「読む」「聞く」「書く」「話す」などの基礎的な力がついている。	80.0
3	お子さんは自ら考え、自ら学び、意欲的に楽しく学習を進めている。	66.3
4	学校では誰もが「分かる」「できる」ための授業が行われている。	93.0
5	学校における読書活動の推進により、お子さんは進んで本を読んだり、本で調べたりしようとする。	57.4
6	お子さんは外国語活動や英語の授業を楽しみにしている。	68.9
7	お子さんは日常の生活の中で、外国語活動や英語の授業で学んだことを積極的に活用しようとしている。	49.0
8	お子さんは温かい人間関係の中で学校生活を送ることができている。	91.4
9	学校では目的や役割分担、計画を明確にした自主的・自発的な学級会活動や児童会活動が行われている。	95.7
10	学校における道徳の時間の指導の充実により、お子さんに思いやりの心が育っている。	92.6
11	お子さんは交通ルールを守り、安全に登下校をすることができる。	98.1
12	学校における安全教育や情報教育の充実により、お子さんは自ら危険を回避することができる。	93.4
13	「絆の日」の取組は、お子さんが生命を大切にしたり、守ったりする意識の高揚につながっている。	90.6
14	お子さんは仲間と共に、進んで運動や遊びができる。	95.3
15	お子さんは栄養バランスを考え、マナーを守って食事をすることができる。	85.3
16	お子さんは進んで気持ちのよい挨拶をすることができる。	75.7
17	お子さんはすみずみまできれいに掃除をすることができる。	71.1
18	学校職員は教育相談週間や毎日の児童との関わりを通して、予防的教育相談の充実に努めている。	93.3
19	学校職員は児童一人一人に寄り添う温かさや、愛情に裏付けられた厳しさをもって、生徒指導にあたっている。	93.3
20	学校は教育方針や教育活動の様子を、懇談会や学校・学年だより、HP 等を通して分かりやすく伝えている。	93.4
21	学校は地域や保護者の方の協力を得ながら、地域のよさを生かした教育活動を行っている。	99.0
22	学校職員は保護者や地域の方に、明るい挨拶や丁寧な話し方、対応を心掛けている。	94.3
23	学校施設の管理が適切になされ、安全で学びやすい環境になっている。	94.8

## 令和5年度 学校評価（児童）

※達成率＝「4 よくあてはまる」「3 まあまあ当てはまる」と回答した児童の割合

No	項目	達成率
1	タブレットを使って学習を進めることができましたか。	92.7
2	学習したことをしっかりと身に付けることができましたか。	92.1
3	自分から進んで授業に参加することができましたか。	88.6
4	毎日の授業はよく分かりましたか。	92.7
5	進んで本を読んだり、本で調べたりすることができましたか。	81.9
6	外国語活動や英語の授業を楽しく行うことができましたか。	83.3
7	英語を進んで使うことができましたか。	67.0
8	友達となかよく過ごすことができましたか。	97.4
9	学級活動や委員会活動では、進んで自分たちで話し合うことができましたか。	89.8
10	思いやりの心をもって行動したり、れいぎ正しく行動したりすることができましたか。	90.9
11	交通ルールを守り、安全に登下校することができましたか。	96.8
12	危険なことに気を付けて安全に生活することができましたか。	97.7
13	「絆の日」の取組を通して、自分や家族、友達の命を大切にしようとする気持ちが高まりましたか。	95.6
14	体育や青空の時間には、仲間とともに、進んで運動や遊びをすることができましたか。	95.5
15	栄養バランスを考え、マナーを守って給食を食べることができましたか。	90.6
16	自分から進んで気持ちのよい挨拶ができましたか。	81.9
17	静かにすみずみまできれいに掃除をすることができましたか。	94.4
18	学校の先生たちは、相談や悩み事をていねいに聞いてくれましたか。	94.2
19	学校の先生たちは、よい行いに対してはほめ、間違っただことに対してはきちんと注意をしてくれましたか。	98.2

- 毎月の「絆の日」を核とした安全教育により、自分の命を自分で守ろうとする意識を高めたり、命を守るための知識及び技能を身に付けたりすることができている。
- 学級活動や道徳の時間の指導の充実や、学級遊び、係活動等を通して、相手を思いやる心を育んだり、子供同士のよりよい人間関係を形成したりすることができている。
- 子供たちが不安や悩みを聞いてもらえるという安心感や、よい行いに対してはほめ、間違っただことに対しては注意してくれるという信頼感をもって、教職員と関わることができている。
- 子供たちが主体的に学習に取り組むことができるよう、ICTも効果的に活用しながら日々の授業改善を図り、子供にとって魅力的な授業を展開する。
- 子供たちが本の面白さや楽しさを味わうことができるよう、図書委員会を中心としたイベントや読み聞かせ等、読書指導の充実を図る。
- 英語の授業の楽しさや、英語でコミュニケーションを図ることができた喜びを味わうことができるよう、外国語活動や英語の授業において目的意識をもって学ぶことができるようにしたり、仲間とコミュニケーションを図る場面を位置付けたりする。
- 学校のルールについては、必要に応じて子供たちの意見も踏まえながら見直しを図っていく。また、必要なルールについては、そのルールの意味を伝えながら、遵守することができるように指導する。